

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
社会福祉論Ⅱ	担当教員未定	講義	2	社会福祉士	2	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	「社会福祉論Ⅰ」での学習をふまえ、人々の現実の暮らしから社会福祉とは何かについて更に考えます。様々な文献の他に新聞記事や映像等も用い、歴史的な視点から現代社会のなかで懸命に生きる人々のあり様を丁寧にとらえていきたいと思ひます。そしてそれらをもとに、人間らしい生活とはなにかについて深く考え、社会の中で行動する力を獲得することを目的とします。						
到達目標	①歴史的な視点から現代における社会福祉をめぐる諸問題および社会的背景について理解できる。 ②社会福祉関連の制度や政策を検討し、それに対する自らの意見を表明することができる。 ③人間らしい生活のあり方について、論理的に考え行動することができる。						
回	学習内容						
1	オリエンテーション（授業内容の予定と評価の方法）						
2	社会福祉とは何か						
3	雇用不安						
4	育児不安						
5	老後不安						
6	教育の不利						
7	いのちと健康の不利(健康格差)						
8	いのちと健康の不利(健康の社会的決定要因)						
9	参加の不利(孤立)						
10	参加の不利(包摂)						
11	市場経済への不信(貧困と格差)						
12	市場経済への不信(福祉国家)						
13	権力への不信						
14	他者への不信						
15	まとめ(社会福祉とはなにか)						
予習内容 復習内容	予習：授業計画を参考に、新聞記事等に目を通し社会の状況に触れておく。 復習：授業を通じて生まれた自らの気づきや問いについて、文献等を用いて深めるよう努める。						
教科書							
成績評価							
実務経験							
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会福祉論Ⅰ」を履修し単位取得していることが望ましい。</li> <li>・授業は受講者と意見交換をしながら進めるため、主体的な態度での参加を求めます。</li> <li>・授業を妨げる言動は厳禁です。</li> </ul>						